

# トップコミットメント

わたしたちは  
新しい価値の創造を通じて  
社会に貢献します

東レ株式会社 代表取締役社長

大矢 光雄



日頃より、東レグループに対するご支援とご信頼を賜り、誠にありがとうございます。

世界は今、複数の社会課題が重なり合いながら、加速度的に変化する予測困難な時代にあります。気候変動や資源・エネルギー問題、自然環境の喪失に加え、人口構造の変化、食料・水の不足、健康問題、人権問題といった課題は、私たちの社会や経済のあり方そのものが持続可能かどうかを改めて問い直しています。

こうした時代において、企業が社会とどう向き合い、事業を通じてどのような価値を提供できるのか。その存在意義が、これまで以上に厳しく問われています。

東レグループは1926年の創業以来、「企業は社会の公器であり、その事業を通じて社会に貢献する」との経営思想の下、社会から尊敬される企業体として存在することを目指してきました。その志は、現在の企業理念である「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」に受け継がれています。

私たちはこれからも、革新技術・先端材料の創出を通じて社会課題の解決に挑み、持続可能な未来の実現に貢献していきます。それが、変わることのない東レグループの使命です。

こうした考えのもと、「2050年に向けて東レが目指す世界」として「TORAY VISION 2050」を掲げました。

その実現に向けたサステナビリティ活動として、私たちは「環境」と「人」への貢献を軸に、「社会的価値向上」と「経済的価値向上」の両立に挑んでいきます。

環境負荷低減活動の推進や、『人』を基本とする経営の実践など、「環境」と「人」に焦点を合わせた活動を推進するとともに、革新技術・先端材料の創出を通じて社会課題ヘソリューションを提供し、人が安全・安心で豊かに暮らせる社会の実現を目指すことで、事業戦略とサステナビリティを一体で推進し、社会的価値の創出を事業成長につなげ、その成果を人材・設備への投資や次世代のイノベーションへと循環させていきます。この「価値の好循環」を通じて持続的な成長を実現することが、当社の目指す「社会に貢献する高収益企業」、すなわち「真のサステナブルな会社」の基本的な考え方です。

具体的には、以下の4つの領域を中心に事業を通じた社会課題の解決に取り組んでいきます。

1. 気候変動への対応（カーボンニュートラル）
2. 循環型社会の実現（サーキュラーエコノミー）
3. 自然資本への影響と依存の抑制（ネイチャーポジティブ）
4. 人が豊かに暮らせる社会の実現（ウェル&コンフォートライフ）

2026年4月、東レは創立100周年を迎えました。

この大きな節目に立ち、私は社員一人ひとりとともに創業以来の志を繋ぎ、次の100年も「真のサステナブルな会社」として社会に貢献し続ける東レグループを築いていきたいと考えています。

革新技術・先端材料を社会に実装し、新たな価値の提供を通じて、ステークホルダーの皆様との信頼を一層深め、グローバルな共創を加速させる一。

持続可能な未来の実現に向けて、東レグループはこれからもフルスイングで挑み続けます。

2026年4月